

IASBが年次改善（2011-2013年サイクル）を公表

トーマツ IFRSセンター・オブ・エクセレンス

要点

- 本修正は以下の基準に影響をあたえる。
 - IFRS第1号「国際財務報告基準の初度適用」- 「有効なIFRS」の意味の明確化
 - IFRS第3号「企業結合」- 共同支配企業についての範囲除外の明確化
 - IFRS第13号「公正価値測定」- ポートフォリオの例外の範囲の明確化
 - IFRS第40号「投資不動産」- IFRS第3号とIAS第40号の間の相互関係の明確化
- 本修正は、2014年7月1日以後開始する事業年度に発効する。早期適用は認められる。

本IFRS in Focusは、年次改善プロセスで公表された、4つの国際財務報告基準（IFRSs）の最近の修正を要約したものである。

なぜ本修正を公表したのか？

国際会計基準審議会（IASB）が公表した「IFRSの年次改善（2011-2013年サイクル）」は、年次改善プロセスで公表された6回目の修正の集合体である。年次改善プロセスは、必要性があるが、緊急ではないIFRSに対する修正を行うために設計されている。

いつ新しい要求事項が適用されるのか？

本修正は、2014年7月1日以後開始する事業年度から、将来に向かって適用される。早期適用は認められる。特定の経過措置は、以下の関連する項目に含まれている。

企業は、他の全ての修正を早期適用することなく、「IFRSの年次改善（2011-2013年サイクル）」に含まれる個別の修正を早期適用することが認められる。

本修正によりどのような変更があったのか？

IFRS	トピック	修正内容
IFRS第1号「国際財務報告基準の初度適用」	「有効なIFRS」の意味	まだ強制となっていない新規のIFRSが早期適用を認めている場合、初度適用企業は、当該IFRSを適用することが認められるが、要求はされないことを明確化するために、結論の根拠が修正された。企業が新規のIFRSの早期適用を選択する場合には、新規のIFRSを、表示する期間全体を通じて遡及的に適用しなければならない。ただし、IFRS第1号が他の方法を許容又は要求する免除又は例外を設けている場合を除く。したがって、新規のIFRSを早期適用することを選択した初度適用企業には、新規のIFRSに関するいかなる経過措置も適用されない。
IFRS第3号「企業結合」	共同支配企業についての範囲除外	共同支配の取決め自体の財務諸表における、全ての種類の共同支配の取決めの形成についての会計処理にはIFRS第3号が適用されないことを明確にするために、範囲のセクションが修正された。
IFRS第13号「公正価値測定」	ポートフォリオの例外の範囲（52項）	金融資産及び金融負債のグループの純額ベースでの公正価値の測定についてのポートフォリオの例外の範囲は、IAS第32号における金融資産又は金融負債の定義を満たさない契約であっても、IAS第39号又はIFRS第9号の範囲に含まれ、それらに従って会計処理される全ての契約が含まれることを明確化するために修正された。 IFRS第13号を将来に向かって最初に適用したことと整合的に、本修正はIFRS第13号が最初に適用された事業年度の期首から将来に向かって適用しなければならない。

IFRS	トピック	修正内容
IAS第40号「投資不動産」	IFRS第3号とIAS第40号の間の相互関係	IAS第40号は、当該基準とIFRS第3号「企業結合」が相互に排他的なものではなく、両基準の適用が要求されることを明確化するために修正された。したがって、投資不動産を取得する企業は、(a) 当該資産がIAS第40号における投資不動産の定義を満たすかどうか、(b) 当該取引がIFRS第3号の企業結合の定義を満たすかどうかについて決定しなければならない。 本修正は、2014年7月1日以後開始する期間における投資不動産の取得に将来に向かって適用される。企業は、そのための情報が入手可能な場合にのみ、本修正を早期適用し、そして（又は）過去の期間を修正再表示することができる。

以上

トーマツ メールマガジンのご案内

トーマツグループでは、専門性と総合力を活かしたナレッジやニュースをWebサイトに掲載するとともに、その更新情報を中心に「トーマツメールマガジン」として無料で配信しています。www.tohmatu.com/mmlにアクセスし、トーマツメールマガジンにご登録くださいますようお願い申し上げます。

トーマツ総合メールマガジン

監査・ファイナンシャル アドバイザリー・コンサルティング・税務の4つの分野のサービスに関連する内容を中心に、それぞれの分野の最新情報やセミナー情報などを配信しています。（毎月発行）

トーマツIFRSメールマガジン

IFRS/国際財務報告基準（国際会計基準）の最新動向、解説記事を定期的に配信しています。また、特に重要なIFRS関連情報が発表されたときには、即時に、当該情報やその解説記事を配信しています。（概ね毎週発行）

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリーメールマガジン

M&Aの実務の観点より、新聞や経済誌等とは異なる視点で、財務・会計・経営戦略・業界動向などの話題を中心に、タイムリーかつ実務に即して充実した情報を提供しています。M&Aに関する身近な情報ソースとしてご活用ください。（毎月発行）

コンシューマービジネスメールマガジン

日用消費財、小売などのコンシューマービジネス業界におけるトピックスを配信します。ASEANをはじめとする新興国における市場動向レポート、企業動向ニュースサマリー、業界特有の会計情報などを提供します。（毎月発行）

ライフサイエンス ニュースレター

ライフサイエンス業界における最新トピックを配信します。業界専門コンサルタントが、製薬・医療機器企業が直面する課題や、押さえるべきトレンドなどについて解説します。（原則、隔月発行）

トーマツ チャイナニュース

中国ビジネスを展開している日本企業及び在中国の日系企業向けのニュースレターです。会計税務の専門的な立場より中国の会計税務投資情報についてタイムリーにわかりやすい解説を配信しています。（毎月発行）

ヒューマン キャピタル ニュースレター Initiative

組織・人事に関する国内外の最新動向、解説記事やセミナー情報を、ヒューマンキャピタル（HC）グローバル発行の内容も交えて配信します。企業の「人」「組織」にまつわる課題解決に向けて、是非ご活用ください。（毎月発行）

グロース エンタープライズサービス メールマガジン Next-

「成長企業」の創出に向けて、日本経済再生への戦略的視点を含めた政策提言と、成長企業が取り組むべき経営課題について、グロースエンタープライズサービスのコンサルタントが執筆した記事・インタビュー等を配信しています。（原則、毎月発行）

■お問合せ先 トーマツ メールマガジン事務局 info_magazine_jp@tohmatu.co.jp